

それは非常に無理であつた。筆法筆意の不明、教材の繁多、引用語句の時に用意浅き等、それ等は確かに改められねばならぬ所であつた。

○昨年夏頃の雑誌にボツ／＼高等小學校の改訂が傳へられ、その後に於て愈々それが確實に報せられてきた。誰だらう！筆者は！手本であるからには誰が見ても温健中正であらねばなるまい。同時に品位にも富むもので無ければなるまい。強さ美しさ、それは無論附帯されやう、扱誰だらう多くの人々の心の上に様々な筆者が駢轔した、果然！それは筆野鈴木先生であつた。

○昭和八年四月四日午前、私の机の上に待望の高一書方本が遂に置かれた。私は繁劇な事務を押しやつてどうしてなかつた。先づ根本的に體裁のかはつたこと、開卷第一頁「仰觀山俯聽泉」鏡のやうだ、映るやうだ、いな、墨痕淋漓、何といふ壯觀だらう、子供も必度好く、文字も少いのが實にいゝ、出たぞ！「史籍歌集醫書」精彩奕々、端然として人に逼るやうだ、出づるに従つて勁、出づるに随つて抜！

○全巻二十五頁四百五十三字、法帖二頁五十四字。先づ書體から考へてみる。楷十二行四、これは何れも大字又は中字、細字は皆行で平假名交り七教材。計、練習材料二十三である。次に文字の大きさを考へると、大字二教材六字宛、中字十四教材、八字宛が三、十字宛が八、十二字宛が二、十四字教材一である。平假名は細字總數二百四十五字の中百二十九字の五分二厘強に當つてゐる。又引用語句の用意を見ると、讀本教材十一、殘る過半は史記、和漢朗詠集、懷風藻、白氏文集唐詩選、並に名ある和歌俳句等によつてゐる。更にその凡例に從へば「本書の漢字は、古人の筆蹟世間の慣用等を參照して、書寫に便なる體を選べり。ために字典に載する所のものと體を異にせるもの少からざるを

以て、別に字寫所載の體を掲げて之が異同の比較に資せり」とある。更に一步を進めると、卷末の法帖に眼をうつしてみる。第一が虞世南の孔子廟堂碑十二字、此の碑の原碑は疾く焼けて損じて、後、改刻また當初のものでないといはれてゐる。第二は歐陽詢の九成宮醜泉銘八字、楷書の極則とされるもので、これ亦原碑は已に破壊されてゐる、字體方正峻嚴、凛乎として人に迫る。第三は褚遂良孟法師十六字、方正和暢少しく隸法を帯びて人に親しむといふ形、これも原碑は既に亡失してゐる。第四は顏真卿建中帖十八字、建中元年皇紀一、四四〇年の作額の作中別家の觀あるものとされてゐる。

○改訂本は舊手本に比してどこが違ふかは以上の考察だけによつても或る程度迄は盡したやうに思ふ。勿論詳細な事は編纂の趣旨並に取扱上の注意事項等が示された上で無ければ知り難い所であるが、非常な眼につく一つは材料が舊手本の半減下にあるから、取扱者は斷えず確實に基礎を築き乍ら、ゆつくりと徹して進めていく事が出来るわけ。斷じてあはてるかあはてぬかといふ所に、成功不成功の岐眼がある。従来の活字體一點張りを廢して「聽・踏・鳥來」等、便利にして美しき書寫體を取入れた事は何といふ大改革であらう。引用の語句が和漢の古文書中から多く採

られたこと、之れも東洋固有の大學と結びつける上に大なる用意が察せられる。も一つ著しく眼につくものは何といふても法帖の掲出だ、今度の手本は此處に非常に大きな深みがある、凡そ支那文化四千年、書道の花が彼の唐時代に於て尤も盛觀を極めたことは何人も首肯する所、虞、褚、歐、顏は所謂當代の四大家、此の大家を外にして又、書を語る事は出来ぬ。改訂本法帖引用の用意察すべきである。

○當代の大家岩田鶴亭先生曰く「虞は穩雅にして風韻饒か也、褚は婉媚遒勁にして豊艶也、歐は俊拔にして氣象雄也」と田代秋鶴先生曰く「顔は規模雄大、堂々獨歩、執筆自由唐代第一也」と。

○筆端の力！私はそれを久しく考へてゐた、多くの美の條件の中「力」が第一に居るものと考へてゐた。力すなわち強さだ、今度の手本を眺めて此の強さが恐らく何人の眼にも尤も深刻に映するものと思ふ。斯く考へると今後の取扱者はつとめてその仕事を、其の指導を指から腕に腕から腕に、どうして移して行くのでなければならぬ。強敵に對して身構へた剣道の姿だ、水も漏らさぬ全幅の氣合だ、からだに既に靈があつた、腕を傳つて筆先からボツ／＼と落ちていく。さう欲し、それが筆意だ、筆意無くして何の筆力ぞと言ひたい。姿勢端正、筆端風發、さうも敢へて責をふさぐ。(了)

「總てノ學校ニ於テハドイツ國民性並ニ國際的協同ノ原理ニモトズキ道德陶治ニ留意シ國家公民トシテノ陶治ヲアタヘ、個人的職業的材能ヲ得シムベシ」と自國文化を支持すると共に國際主義を強調し、公民的訓練と共に職業的陶治を重視してゐる。これ從來の豫備校（フオア・シュール）式教育に於ては全く考へられざりし所である。

元來ドイツの教育は從來あまりに知的に偏して居つたのであつて、この欠點を打破せんとし、ライヒのタート・シュールが生れ、ケルンシエンス・タイネルのアルバイト・シュールが存在する。而して現代教育思想の根本をなす思想の一つは又この勤勞學校の思想にあるとも云へると思ふ。勿論この種の思想は歴史なく生れたものではな。併しその思想が社會の賞讃と支持を得るに至つたのは新しい事である。ガウデイヒ及びケルンシエンス・タイネル等は此の意味で注意されるべき人物である。

元來ケ氏の考は一面に於て確かに米國的な實用主義の色彩が多く、彼自身も述べる如く最初ドウウーの影響の下に成立したものである。依つて彼は手工を中心とし作業室の活動を重視するのである。勿論ケ氏の思想と雖も、殊に其晩年の思想的轉回に於て、實用主義的考慮を以てのみ一貫されてゐると云ふ事は出来な。併し其の思想的成立よりしてガウデイヒの意見は注目すべき對照をなすものである。即ちガ氏によれば作業とは自由精神作業の意味であり、精神の自己活動を以て作業の中心原理とする。この點より見るとガ氏は一種の自由教育論者である。併しこの二種の思想的對立は廣き作業思想の中に融合せらるべきものである。包括作業思想に於ては精神的體格的關聯が考慮されるものである。而してこの關聯に就ては實驗心理學の研究が貢獻する所がある、即ち筋肉活動と智能の發達とは根本的相關關係を有するとするものである。(つゞく)

「金死藏の嚴禁」

白幡一燈

アメリカ政府は這般の金融後を幸福にする用意をなすに恐れを緩ゆる目的の第一義である。然るに肝心、金保管の機構が不完全、不健全なる時は貯蓄の効果を以て人々は其危険を喜ばざるべく、さりとて現今の如く價格の動搖常なき有價證券、不安極まる金融に投資するが如きも亦差巡さる、故に其改善安定なき限りは金の死藏は陰に陽に免れ得ぬ所と信せらる。

殊に健全なる銀行制度の持續は總て民衆に信頼心の動搖を來し延いては社會秩序を破壊するの大事に至らむこと要之、我々は政府に對し先づ自ら爲すべき所を爲せ、それが金死藏を解消する唯一の策であり途であると思ふ。

併し政府は今や此民衆の叫びに耳を籍さず極力積極手段に訴へて金死藏を責め其流出を利用して失業者に職を與へ以て國民購買力の増進を劃しつゝある。

財政長官ウツデン氏は其拘負中に今のアメリカ經濟困難は國民購買力の増進に依つて救はるべきである。而して最も疲弊せる農民、鐵道従業員は貨物運賃の引上げにより其購買力増進を期し得るであらうと述べた。

其失業者にせよ將た農民、鐵道従業員にせよ兎も角購買力の増進は確かに不況對策正の一方策には相違なきも其出費を死藏金に求むるは如何なるものであらうか。

私は「バンドリッパ」氏の言を借りて經濟的無智なる國民並に政府に一言を賦したのである。

元來アメリカの銀行は一見金融業者と區別し難いものがあつた。それが顧客本位と云ふより寧ろ自己經營本位で時に預金争奪の必要よりして法定以上の高利を拂ふことも辭せざりし預つた金を不良投資に

膠着せしむることも罪と感じて居らぬやうである。尤も斯かる不良銀行分子は數に於て明示することを憚かるが先頃破綻した大部分は先づ此種のものとして差支あるまい。

私はアメリカのため斯くの如き銀行の閉鎖を希望するものである。

ルーズヴェルト氏は銀行が續々破綻するのは銀行の質に不良の點あるのみならず從來の政府が銀行検査を等閑に附した罪も免れることは出来ない。故に余は大統領就任に機に銀行検査を一層嚴重にしたい希望を有してゐるといつたが曩にル氏が紐育州知事たりし時、自己の選定したる検査官にして且つ大銀行の破綻を防ぎ得なかつた監督不行届の例も未だ人の腦裡に残つてゐる筈である。

「言ふは易く行ふは難し」

乍ら、銀行制度の合理化は當面の必要である。支店設置の新制定宜し、不良銀行の閉鎖宜し、須らく中央銀行たる聯邦準備銀行に於て健全なる州銀行を結びつけ以て健全なる金融機構を築いて民衆金の好保管所を標定し再び銀行は金の安全地帯なりと云ふ時代に復活を望むものである。

今や國家資本主義で夫大冒險事業に一步を踏み出した爲め事態更に複雑化したアメリカは堅實なる貨幣制度、健全なる銀行制度、安全なる投資を選び以て世界衆人より經濟的に無智なる政府並に國民と云ふが如き嘲りを買はないやうに努むること其れがアメリカ社會の安寧、一般人の幸福であり、更に政府生命の鑰をも預るものであらう。

死藏金の嚴禁は表に成功しても裏には抜け道が手を受け居ないとも限らぬ。

夫れよりも銀行が安全地帯となれば金は自然其中に流れ込むだらうし、有價證券價の動搖が定まらば其處へもつぎ込まれることは明かである。最も永遠確實な自然的金收拾策と私は考へるのである。

最近歐米教育に於ける諸問題 (八)

日本大學第四中學校 文學士 山口幸之助

(D) 作業學校思想の展開

一九一九年八月十一日のドイツ新憲法は現代ドイツに於ける教育に關する諸原則を示し、従来の傳統的教育に一大改革を加へ、階級による教育より素質による教育にすむる。

「總てノ學校ニ於テハドイツ國民性並ニ國際的協同ノ原理ニモトズキ道德陶治ニ留意シ國家公民トシテノ陶治ヲアタヘ、個人的職業的材能ヲ得シムベシ」と自國文化を支持すると共に國際主義を強調し、公民的訓練と共に職業的陶治を重視してゐる。これ從來の豫備校（フオア・シュール）式教育に於ては全く考へられざりし所である。

元來ドイツの教育は從來あまりに知的に偏して居つたのであつて、この欠點を打破せんとし、ライヒのタート・シュールが生れ、ケルンシエンス・タイネルのアルバイト・シュールが存在する。而して現代教育思想の根本をなす思想の一つは又この勤勞學校の思想にあるとも云へると思ふ。勿論この種の思想は歴史なく生れたものではな。併しその思想が社會の賞讃と支持を得るに至つたのは新しい事である。ガウデイヒ及びケルンシエンス・タイネル等は此の意味で注意されるべき人物である。

元來ケ氏の考は一面に於て確かに米國的な實用主義の色彩が多く、彼自身も述べる如く最初ドウウーの影響の下に成立したものである。依つて彼は手工を中心とし作業室の活動を重視するのである。勿論ケ氏の思想と雖も、殊に其晩年の思想的轉回に於て、實用主義的考慮を以てのみ一貫されてゐると云ふ事は出来な。併し其の思想的成立よりしてガウデイヒの意見は注目すべき對照をなすものである。即ちガ氏によれば作業とは自由精神作業の意味であり、精神の自己活動を以て作業の中心原理とする。この點より見るとガ氏は一種の自由教育論者である。併しこの二種の思想的對立は廣き作業思想の中に融合せらるべきものである。包括作業思想に於ては精神的體格的關聯が考慮されるものである。而してこの關聯に就ては實驗心理學の研究が貢獻する所がある、即ち筋肉活動と智能の發達とは根本的相關關係を有するとするものである。(つゞく)

「總てノ學校ニ於テハドイツ國民性並ニ國際的協同ノ原理ニモトズキ道德陶治ニ留意シ國家公民トシテノ陶治ヲアタヘ、個人的職業的材能ヲ得シムベシ」と自國文化を支持すると共に國際主義を強調し、公民的訓練と共に職業的陶治を重視してゐる。これ從來の豫備校（フオア・シュール）式教育に於ては全く考へられざりし所である。

元來ドイツの教育は從來あまりに知的に偏して居つたのであつて、この欠點を打破せんとし、ライヒのタート・シュールが生れ、ケルンシエンス・タイネルのアルバイト・シュールが存在する。而して現代教育思想の根本をなす思想の一つは又この勤勞學校の思想にあるとも云へると思ふ。勿論この種の思想は歴史なく生れたものではな。併しその思想が社會の賞讃と支持を得るに至つたのは新しい事である。ガウデイヒ及びケルンシエンス・タイネル等は此の意味で注意されるべき人物である。

元來ケ氏の考は一面に於て確かに米國的な實用主義の色彩が多く、彼自身も述べる如く最初ドウウーの影響の下に成立したものである。依つて彼は手工を中心とし作業室の活動を重視するのである。勿論ケ氏の思想と雖も、殊に其晩年の思想的轉回に於て、實用主義的考慮を以てのみ一貫されてゐると云ふ事は出来な。併し其の思想的成立よりしてガウデイヒの意見は注目すべき對照をなすものである。即ちガ氏によれば作業とは自由精神作業の意味であり、精神の自己活動を以て作業の中心原理とする。この點より見るとガ氏は一種の自由教育論者である。併しこの二種の思想的對立は廣き作業思想の中に融合せらるべきものである。包括作業思想に於ては精神的體格的關聯が考慮されるものである。而してこの關聯に就ては實驗心理學の研究が貢獻する所がある、即ち筋肉活動と智能の發達とは根本的相關關係を有するとするものである。(つゞく)

金澤文庫

金澤文庫の活動 (續)

金澤文庫長 關 靖

新史料から見ると

最近発見された古文書によると、金澤文庫は鎌倉時代... (六) 金澤文庫秘蔵の分類記述に就て (上)

一 收藏圖書の分類記述に就て

當時一般に藏書家が、如何なる記述によつて、その圖書を分類して居たかといふ事は、明瞭でないが、彼の有名な藏書記述を持つて居るといふ事は、周知のことである。

約十帖を一函に収めて、それを千字文の文字を配してゐる。その千字文の分類法といふのが、當時支那に於ける經典の細別分類法であつたらしく、勿論大別分類法として、内典には1經2律3論4聖5經撰述の五段分類があり、外典には經・史・子・集の分類があつたが、それは内容から分類であつて、記述として使用されたものではない。

「坊つちやん」の後日物語り

昔床しい珍談 (二) (静岡教育誌から)

「君が虚子のところへ談判に出るに「坊つちやん」の代りとして、廣告をしたなど、斷つたのも驚いた、廣告などはどこに出るのかね。折角の御依頼だから「七人」へ何か書いて出してもらひたいが、何か用事もあるし少し本もよみたいから、うまく時日内に出来るかどうか受合ふ譯には行かぬ、君から小山内君へさう話して置いてくれ給へ、僕も「猫」の續きを書き下さない、今度は實業家の妻君の事を書き、左様なら「漱石全集」第十二巻(三〇七ページより)漱石先生は日ならずして「七人」のた

尊徳先生の遺法

報徳趣法と表旌 (二)

古屋安定

先生が久保公の囑を受けて、その分家津沢之助所領野村櫻町の實地調査に出掛けたのは文政四年八月朔日であるが、翌年九月正式に赴任するまでに五六回往復をなし、第二回目の四年十月には既に五常講手段として、東沼村市左衛門に、その出精を表彰して金壹兩を與へ、十一月には更に出精、かや、道、細、繩、ない、薬代とか或は相談をしたからとて夫々賞を與へてゐる。未だ趣法を受諾せず僅かに調査に着手したその始めに於てこの事があるのは、既に深く期するところがあつたであらうと察せられるが、小田原藩との交渉が成立して、文政五年九月六日櫻町に着任すると、直ぐ翌日から廻り村小百姓の内出精之者共を小前一統入札させ、高札の者から夫々左の通り表彰をした。

一 能治集 一巻
一 世間雜事抄 一帖
一 高名祿 一巻
一 借書とあるのは借用書のことで、此の思案といふ文字は、何れも千字文の文字であることは前にも述べた通りである。現在の金澤文庫本にも、その包皮などに往々千字文の文字の記されて居るのを見受けることがある。當時は之が一番便利な分類記述であつたらしい。否鎌倉時代ばかりでなく、徳川時代までもこの分類記述を使用して居たと見えて、金澤文庫の熊原政男氏は次の様な藏書票を珍蔵してゐる。

思想問題と教育

文學博士 深 作 安 文

我國は昔から二通りの危機に遭... 我々の精神の力でありました。次に精神の危機と呼ぶものが三回ござい... 第一回は佛敎の傳來... 第二回は...

今日反國家的左傾思想の人... 博し大西の制海權を握ると、英... 國の船が自由大洋を横行... したものであります。それと同時... 英國の貿易が勃興し、産業の隆...

この三通りの労働者がありました... 労働者といふものは、その階級... 階級をなすに至つた... 階級をなすに至つた... 階級をなすに至つた...

先づ今日の文化の程度まで進ん... だ人を人間の力で自然生活に引戻... すといふことが出来るかどうか... 出来ないと見なければなら...

家庭欄

第四景

修學旅行(花の吉野山) (一)

女教師二十景

添はずなりにき

吉野山こそ
多の花を見
てしより
こころは
身にも

とつけ加へた。
櫻さく水分山に風吹けば
むつだの淀に雪つ
もりけり

これはありし世の西行の和歌！
が、T子に至つては、此の歌ど
ろではなく、まだ見ぬ櫻にあこ
がれて、魂は、疾うの昔、芳山のも
のになつてゐるのであるから、今
日四月十五日と云ふに、今度計ら
ず主任となつた新しい五年A組の
生徒(O高女では、今年度から主
任制度を變更し、持上り式を廢し
た)を伴つて、吉野山の麓、吉野
川の清流に架けられた三吉野橋の
袂に立つた時は、狂氣を通り越し
て、ポツと泣いてしまつた。
柳櫻をこきまてた京師！
八重さくら奈良！

T子は、個人としても、亦O高女
の或組の主任としても、これら舊
都の春は幾度もおとつれ、現に
昨日と一昨日は、東山の「春
日野の」花を眺めて来たのであ
るが、こゝ六田(むだ)の渡しを
前にした程の感激には浸り得な
かつた。
O高女が、花はまたさりの四月の
旅行に、今年から、此の山を加へ
たのは、深き故ありと云ふべしで
ある。

「先生ッ
かはづなくむつだの
淀の川柳
ねもごろ見れどあか
ぬ君かも
ね、こゝはむつだの淀で御座い
ませう」
嬉しさに頬を染めて、先頭のV
子が云つた。
さうではむだの渡し、又柳の渡
しもと云ひます」
かう一同に説明したT子は、尚ほ
他に櫻の渡し、梅の渡しのあるこ

「止して頂戴——吉野へ来てま
で、お金の勘定する人は——エ
と、何に食はせたいといひてせ
うね」
「あのほら、あれがいゝわ、神
武天皇が此のあたりでお逢ひに
なつたといふ井光神社の——尾
の生えた人間に食はせてやりま
せう」
「さういふ吉野の首の神、井水
鹿ね——やつちまへ——ホ、
、」
「ホ、ホ、ホ、ホ、ホ、ホ、
H子やI子が、一しきり、それを
いぢめつけてゐる。
B組や、C組、D組の、吉野驛を
出て、こゝへ来るのを待つ間、教
へ子達が、春らしい和やかな應酬
を聞いて、T子は、いゝ心うれ
しく、今し世塵を隔つること千倍
もたゝならざる思ひであつた。

「物の名もところによりて變り
けり——で、此山では、鮎のこ
とを國橋魚(くづい)と云ふ
君達も、今の話の、鮎の天
ぶら組だらう——アツハツハツ
ハツハ」
「いゝわ先生、ホ、ホ、ホ、
後の方から、歴史の教師であり、
B組の主任である先生の、いつも
な少女達の笑ひが聞えて、他の三
組も、こゝろよく三吉野橋畔の人
々となつた。
「何で御座いますの、鮎の天

「あら花、又花、又花」
N子が面白さうに、こんな風に節
をつけて唄つて歩く。
木の花、人の華。
T子が、自分の祝福の中に見つけ
て、感謝の念が溢れるばかり。
お、歴史の山！花の山！詩歌の山
天武天皇。後醍醐天皇。楠公父子
辨内侍。義経。西行法師。貞
室。芭蕉。さては彼の優婆塞(え
んのうばそく)下の千本、中の千
本、奥の千本、大峰の山上まで、
凡そ吉野に關することが、T子の
眼前を走馬燈のやうに走り過る。
西方、遙に、金剛城の連峰を眺
め、北方には、近く龍門高取の諸
山と對し、吉野の清流が足下を流
れる歌家のわたり、T子は、實に
低徊する能はざるものがあつた。
稍々上つて吉野神宮。
これこそ後醍醐天皇を祭神とし奉
る官幣大社、花梢の間、宮柱太し
りませる輪奐の壯麗一同は、口を
漱ぎ手を淨めて、謹んで廣前に參
拜した。

「君達、もう歌袋は一杯なんだ
らう。古人の歌ばかり打ち誦ん
じないで、一つ各々のを披瀝し
たまへ、僕がT先生に代つて添
削してやるから——」
G先生の、朗らかな聲を聞きなが
ら、校長の導くまゝに、T子は、
教へ子達と、こゝにも名残りりと
て、黒門、銅の鳥居、金峰山寺
の仁王門、豊公にゆかりの花見塚
寺を経て、終に吉野の行宮跡に詣
ずるのでつた。
延元のむかし、キツとばかり都の
空を睥睨したまひつゝ、颯と按
じて、悲憤の中に、此處に崩御し
たまひし後醍醐天皇の御事を憶ひ奉
れば、まこと涙、把に滿ちて、
T子は人知れず幾度も眼を拭つた
都だにさびしかりしを
雲晴れぬ
よしの、奥の
五月雨の頃
天皇の御製を、ソツと奉誦してあ
るF子の聲もふるへ勝たぬ。
彼の優婆塞(えんのうばそく)の
藏王堂、枕の下に石走る吉水院、
T子達は、唯々感慨に溢れつゝ、
やがて、勝手神社の左から中の千
本に出、夕靜に、櫻花壇の宿に
入つた。

なべて櫻のみよしの、山
Y子が又歌を吟じた。
「昭憲皇太后が、吉野へ行啓あ
そばした時、明治天皇の御爲め
に一枝をお折りあそばしたの
こゝろでせう——さもこそ
思はれる」
T子が叫ぶ。
「君達、もう歌袋は一杯なんだ
らう。古人の歌ばかり打ち誦ん
じないで、一つ各々のを披瀝し
たまへ、僕がT先生に代つて添
削してやるから——」
G先生の、朗らかな聲を聞きなが
ら、校長の導くまゝに、T子は、
教へ子達と、こゝにも名残りりと
て、黒門、銅の鳥居、金峰山寺
の仁王門、豊公にゆかりの花見塚
寺を経て、終に吉野の行宮跡に詣
ずるのでつた。
延元のむかし、キツとばかり都の
空を睥睨したまひつゝ、颯と按
じて、悲憤の中に、此處に崩御し
たまひし後醍醐天皇の御事を憶ひ奉
れば、まこと涙、把に滿ちて、
T子は人知れず幾度も眼を拭つた
都だにさびしかりしを
雲晴れぬ
よしの、奥の
五月雨の頃
天皇の御製を、ソツと奉誦してあ
るF子の聲もふるへ勝たぬ。
彼の優婆塞(えんのうばそく)の
藏王堂、枕の下に石走る吉水院、
T子達は、唯々感慨に溢れつゝ、
やがて、勝手神社の左から中の千
本に出、夕靜に、櫻花壇の宿に
入つた。

作法

用具のあつかひ方

一〇 傘 杖
A すゝめ方
傘、杖等を人にすゝめるには、右
手を下部に添へ、柄を先方の右
手を出して、受け易からしむるや
うにして渡す。時宜に依りては
右手だけ持つて渡すこともあ
る。

傘を開いて

授受について
傘を開いてすゝめる時は、左手
で柄の下部を持ち、右手にて渡
す。すゝめられた方は、特に丁寧に
會釋して、左手で柄を受け、右
手で柄の中部を握り、さて眞直
に持ち直す。

花弁類

A すゝめ方
花弁類を受けるには、會釋の後
右手にて持ち、左手を添へるや
うにする。
花瓶の場合は、一禮して後、我
前に持ち寄せ、然るべきやう賞
玩する。

作法

用具のあつかひ方

一〇 傘 杖
A すゝめ方
傘、杖等を人にすゝめるには、右
手を下部に添へ、柄を先方の右
手を出して、受け易からしむるや
うにして渡す。時宜に依りては
右手だけ持つて渡すこともあ
る。

傘を開いて

授受について
傘を開いてすゝめる時は、左手
で柄の下部を持ち、右手にて渡
す。すゝめられた方は、特に丁寧に
會釋して、左手で柄を受け、右
手で柄の中部を握り、さて眞直
に持ち直す。

花弁類

A すゝめ方
花弁類を受けるには、會釋の後
右手にて持ち、左手を添へるや
うにする。
花瓶の場合は、一禮して後、我
前に持ち寄せ、然るべきやう賞
玩する。

作法

用具のあつかひ方

一〇 傘 杖
A すゝめ方
傘、杖等を人にすゝめるには、右
手を下部に添へ、柄を先方の右
手を出して、受け易からしむるや
うにして渡す。時宜に依りては
右手だけ持つて渡すこともあ
る。

傘を開いて

授受について
傘を開いてすゝめる時は、左手
で柄の下部を持ち、右手にて渡
す。すゝめられた方は、特に丁寧に
會釋して、左手で柄を受け、右
手で柄の中部を握り、さて眞直
に持ち直す。

花弁類

A すゝめ方
花弁類を受けるには、會釋の後
右手にて持ち、左手を添へるや
うにする。
花瓶の場合は、一禮して後、我
前に持ち寄せ、然るべきやう賞
玩する。

作法

用具のあつかひ方

一〇 傘 杖
A すゝめ方
傘、杖等を人にすゝめるには、右
手を下部に添へ、柄を先方の右
手を出して、受け易からしむるや
うにして渡す。時宜に依りては
右手だけ持つて渡すこともあ
る。

傘を開いて

授受について
傘を開いてすゝめる時は、左手
で柄の下部を持ち、右手にて渡
す。すゝめられた方は、特に丁寧に
會釋して、左手で柄を受け、右
手で柄の中部を握り、さて眞直
に持ち直す。

花弁類

A すゝめ方
花弁類を受けるには、會釋の後
右手にて持ち、左手を添へるや
うにする。
花瓶の場合は、一禮して後、我
前に持ち寄せ、然るべきやう賞
玩する。

作法

用具のあつかひ方

一〇 傘 杖
A すゝめ方
傘、杖等を人にすゝめるには、右
手を下部に添へ、柄を先方の右
手を出して、受け易からしむるや
うにして渡す。時宜に依りては
右手だけ持つて渡すこともあ
る。

傘を開いて

授受について
傘を開いてすゝめる時は、左手
で柄の下部を持ち、右手にて渡
す。すゝめられた方は、特に丁寧に
會釋して、左手で柄を受け、右
手で柄の中部を握り、さて眞直
に持ち直す。

花弁類

A すゝめ方
花弁類を受けるには、會釋の後
右手にて持ち、左手を添へるや
うにする。
花瓶の場合は、一禮して後、我
前に持ち寄せ、然るべきやう賞
玩する。

作法

用具のあつかひ方

一〇 傘 杖
A すゝめ方
傘、杖等を人にすゝめるには、右
手を下部に添へ、柄を先方の右
手を出して、受け易からしむるや
うにして渡す。時宜に依りては
右手だけ持つて渡すこともあ
る。

傘を開いて

授受について
傘を開いてすゝめる時は、左手
で柄の下部を持ち、右手にて渡
す。すゝめられた方は、特に丁寧に
會釋して、左手で柄を受け、右
手で柄の中部を握り、さて眞直
に持ち直す。

花弁類

A すゝめ方
花弁類を受けるには、會釋の後
右手にて持ち、左手を添へるや
うにする。
花瓶の場合は、一禮して後、我
前に持ち寄せ、然るべきやう賞
玩する。

作法

用具のあつかひ方

一〇 傘 杖
A すゝめ方
傘、杖等を人にすゝめるには、右
手を下部に添へ、柄を先方の右
手を出して、受け易からしむるや
うにして渡す。時宜に依りては
右手だけ持つて渡すこともあ
る。

傘を開いて

授受について
傘を開いてすゝめる時は、左手
で柄の下部を持ち、右手にて渡
す。すゝめられた方は、特に丁寧に
會釋して、左手で柄を受け、右
手で柄の中部を握り、さて眞直
に持ち直す。

花弁類

A すゝめ方
花弁類を受けるには、會釋の後
右手にて持ち、左手を添へるや
うにする。
花瓶の場合は、一禮して後、我
前に持ち寄せ、然るべきやう賞
玩する。

作法

用具のあつかひ方

一〇 傘 杖
A すゝめ方
傘、杖等を人にすゝめるには、右
手を下部に添へ、柄を先方の右
手を出して、受け易からしむるや
うにして渡す。時宜に依りては
右手だけ持つて渡すこともあ
る。

傘を開いて

授受について
傘を開いてすゝめる時は、左手
で柄の下部を持ち、右手にて渡
す。すゝめられた方は、特に丁寧に
會釋して、左手で柄を受け、右
手で柄の中部を握り、さて眞直
に持ち直す。

花弁類

A すゝめ方
花弁類を受けるには、會釋の後
右手にて持ち、左手を添へるや
うにする。
花瓶の場合は、一禮して後、我
前に持ち寄せ、然るべきやう賞
玩する。

作法

用具のあつかひ方

一〇 傘 杖
A すゝめ方
傘、杖等を人にすゝめるには、右
手を下部に添へ、柄を先方の右
手を出して、受け易からしむるや
うにして渡す。時宜に依りては
右手だけ持つて渡すこともあ
る。

傘を開いて

授受について
傘を開いてすゝめる時は、左手
で柄の下部を持ち、右手にて渡
す。すゝめられた方は、特に丁寧に
會釋して、左手で柄を受け、右
手で柄の中部を握り、さて眞直
に持ち直す。

花弁類

A すゝめ方
花弁類を受けるには、會釋の後
右手にて持ち、左手を添へるや
うにする。
花瓶の場合は、一禮して後、我
前に持ち寄せ、然るべきやう賞
玩する。

作法

用具のあつかひ方

一〇 傘 杖
A すゝめ方
傘、杖等を人にすゝめるには、右
手を下部に添へ、柄を先方の右
手を出して、受け易からしむるや
うにして渡す。時宜に依りては
右手だけ持つて渡すこともあ
る。

傘を開いて

授受について
傘を開いてすゝめる時は、左手
で柄の下部を持ち、右手にて渡
す。すゝめられた方は、特に丁寧に
會釋して、左手で柄を受け、右
手で柄の中部を握り、さて眞直
に持ち直す。

花弁類

A すゝめ方
花弁類を受けるには、會釋の後
右手にて持ち、左手を添へるや
うにする。
花瓶の場合は、一禮して後、我
前に持ち寄せ、然るべきやう賞
玩する。

濱の小學校商業科調査部が 新訂商業教科書の研究

教授時數配當案

縣教育會新訂商業教科書に對し、いち早くその研究に着手した濱市小學校商業科調査部では新編目作成立上、新教科書中女児教材に對する取捨、二、同教授時間配當の二件を先づ問題とし、目下調査を進めつゝあるが、時數配當案は左の如くである。

因に、要項、要旨、目的、注意、方法、出典、指導準備、實習要點、教具、豫命等、分擔研究の上逐次整理し、本市小學校商業科新編目の完成を期すべく、大車輪の努力をなしてある。

第一學年												第二學年											
第一課						第二課						第三課						第四課					
時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分
1	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	3	4	2	3	2	3	4	4	4	4	4	4
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第一學年												第二學年											
第一課						第二課						第三課						第四課					
時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分	時	分
1	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	3	4	2	3	2	3	4	4	4	4	4	4
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

全國聯合學校衛生會總會

五月上旬開催
汗だくの準備委員会

五月七日、八日の兩日、濱女子専修學校にて開催する第十二回全國聯合學校衛生會總會の開催は切迫し、これが主催地たる本縣學校衛生會及濱市學校衛生會では目下その準備に忙殺されてゐるが總會日程として、

第一日(午前九時開會)
一、報告
二、告辭
三、祝辭

第二日(午前九時開會)
一、議事
二、研究發表
三、學校視察
總會後翌九日は一同箱根に乗り込み、遊覽交歓に數日の勞を慰し其他知事、市長其他の招待を受け、盛大な懇親會を催さるると云ふことである。

全國健康優良兒童表彰 審査委員會開かる

本年から各校必ず申告の事

東朝、大朝、兩新聞社の國民健康増進運動の優良兒童の恒例審査會は本年を第四回とするが、第二回に於て本縣川崎市小田尋常小學校兒童峯村一雄君を日本一健康優良兒童として出し、又第一回第三回と二回優良兒童を出した好成绩を誇るが本年は日本一の桂冠を獲得せよとの期待と審査員諸氏の意氣込甚だ盛である選出は六月中旬に終るが此選出準備を前にして次の如く今井學校衛生技師は語る

本縣は第一回審査以來毎回優秀兒童を送つて居るから今度も是非この歴史の傳統を破りたくないものである

若葉の五月東京で 全國小學校女教員大會開催

本會代表近く決定
思潮との調和如何
三、女教員の社會教育に活動する方面如何
尙縣教育會から津久井郡中野尋常高等小學校指導員森山フジ君足柄下郡小田第二尋常高等小學校指導員矢野トシ君の兩名を派遣する筈である。

實業補習學校 青年訓練所用教科書

一、産業教育の振興は現下の喫緊事である教育なくして生産は起らず、生産なくして經濟復興は望めないであらう。

二、自力更生は政府要路者の痛烈な叫である、勤勉に節約に協同に生産に、此等は其の郷土中心の産業教育から始めねばならぬ。

三、教育の地方化 郷土化、實際化は何をおいても産業教育に重點を置くべきものであらう故に

イ、縣産業教育の統制をはかる事
ロ、郷土化、實際化を現實にする事
ハ、實際教授者多年の要望を充たす事

以上の趣旨から、縣教育會は理想の農業教本を編纂するため、執筆を本縣實業教育の實際指導者に依託し、實業補習學校、青年訓練所用書の編纂を企圖し、既に左の二編を完成して發賣に附される事になった

新學年の初め御採用を乞ふ

神奈川縣教育會編纂

青年農業教本
第一篇 普通作物編 定價 貳拾四錢
第二篇 蔬菜園藝篇 同 貳拾六錢

發行所 橫濱市中區蓬萊町二ノ三〇
神奈川縣中等教科書特約販賣所

青年國語讀本

本郷郷土の青年と文化とにピツたり
合つた最良の國語讀本!!

恐らく、此の讀本が吾が縣下青年の國語學習と、そして、文化理解とに具合の良いものはなく、國語教育の目的觀から謂つても香りが高いものはないだらう。

縣下實補の要望と時代に適切であるといふ點とに基づき、調査研究に數年、自信を以て行き届いた編纂が行はれてゐる。

郷土的國語讀本として全く手がよく回り、心がよく配られた編纂方針は、次の大要の通りである。

一、郷土に關係ある古來及び現代に亘れる文學的諸種の材料、知名の作者の作品を採擇精選したこと。

二、青年心理に合致し、修養にも好資料たらしめたこと。

三、現代文のみならず中古文にも渉り、文種は多方面を網羅し、俳句、和歌、書簡文、詩をも併せ、上品な語彙作品をも盛り文未餘白には漢詩其の他朗詠や趣味に適切な作品を置いたこと。

四、文の理解を援け趣味を深からしむるために挿繪類を力めて多くしたこと。

五、全巻を通じて日本精神の發達の過程の明かなるようにし、日本精神の漸進指導を重視し、國語を通じて日本人たるの美質培養に資したこと。

六、毎巻約百二十頁内外とし、一學年間に必ず學習し終る紙數として次の様にされ

卷一……………後期一學年用 卷二……………後期二學年用
卷三……………後期三學年用 卷四……………研究資料

●青訓用から言へば、各年次毎に一巻宛學習が出来る。

●更に青年學校令の實施を見た場合にも、勿論等しく用ひるに十分なる用意を以て臨んでゐる。

●卷一、二は既刊され最早使用されてゐるが、明朗性に豊かで、趣味に富むといふ好評を以て迎へられてゐる。

●紙質や活字に於ては、夜間學習の視力の點にも考慮が拂つてある。

●上欄の頭註は簡明で學習に利便である。

郷土に於ける絶好の青年國語讀本
として推薦するに十分である

發行所 橫濱市中區蓬萊町二ノ三〇
神奈川縣中等教科書特約販賣所

一區	二區	三區
萩田 視學 中等學校 藤屋 視學 鎌倉郡津久井 龜ヶ谷 視學 郡下郡愛甲 龜ヶ谷 視學 郡下郡足柄上	藤原 視學 郡下郡須賀川 藤原 視學 郡下郡須賀川 藤原 視學 郡下郡須賀川	磯崎 視學 郡下郡須賀川 磯崎 視學 郡下郡須賀川 磯崎 視學 郡下郡須賀川

社団法人神奈川縣教育互助會

一、事業ノ狀況
一、退會金ノ支給 本年度以内ニ退會シタル會員二百一名ニ對シテ退會金四千四百四拾七圓拾錢ヲ支給セリ

本年度内收入金 參萬貳千七百五圓七拾五錢
本年度内支出金 九千貳拾九圓八拾八錢
此内譯 金六千九百九拾貳圓拾錢

神奈川縣教育會編纂

新訂高等小學商業教科書

上下各冊
定價 三拾八錢

舊商業教科書改訂の要望は、時運の推移と共に其の聲を高め、昭和五年頃には縣教育會も此を必然の事と認め、爾來、縣内各都市から調査委員をあげて研究を託し、最近に於いては重ねて横濱市商業研究調查部の意見を聴取して參考に收むるなど、約四箇年間に練つて竝改屢次に及び、茲に今回の完成を告げたものである。

特色

- △内容 は廣く商業運營の最新機構に順合する點に於いてその刷新を誇るに足る
△程度 は漫然學說學理に偏執するをさけ、實際實務に精通せしめん事を旨とした
△組織 は兒童の自營的建設に基礎つけて、陥り易き注入講演教授の弊を緩和した

發行所

國定教科書特約販賣所

横濱市中區蓬萊町二ノ三〇

最新刊 小學唱歌教授指針

新尋常小學唱歌・新高等小學唱歌及び文部省新訂尋常小學唱歌・文部省高等小學唱歌の歌詞歌曲の說明
君が代・勅語奉答の歌ひ方
小學唱歌發聲法
小學唱歌指揮法

新尋常小學唱歌 全六冊 文部省檢定済 定價 各冊 金拾貳錢
新高等小學唱歌 全二冊 文部省檢定済 定價 各冊 金拾五錢

東京市神田區音教書出版會協電田一〇八〇三

學習指指導 大附錄 各科教材配當一覽

四月増大号 實力 學級經營の實際

◇初等教育の實質的改造は本誌より!!
豊富なる教材と本格的教法とを將に
日案式教授指導雜誌界の隨一たり

- 東京高師指導 新制小學國語讀本細目指導日案 (定價 ¥1.50-送料 8錢)
東京高師前編指導 新制小學國語讀本解説並に教授細目 (定價 ¥1.70-送料 8錢)
東京女高師指導 新制小學地理指導日案 (定價 ¥1.20-送料 8錢)
東京女高師指導 新制小學地理指導日案 (定價 ¥1.20-送料 8錢)
大日本體育ダンス研究會 新編小學體育ダンス新教法附創作法 (定價 ¥1.60-送料 8錢)

館學小 通橋ッ一田神京東